vol.71
2026年
9月

東京の生協のまちづくり活動トピックス

あちらこちらでイベントが開催される秋。東京の生協の活動もさまざまな取り組みで賑わっています。
今回は開催報告だけでなく、これから企画されるイベントの予告も加えて紹介します。

足立区まちづくり

岩淵地域のまちづくり活動を知って、情報交換しました

コープみらい・パルシステム東京・東都生協・東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協

加藤正子さん

私設図書室「仙狸文庫」室内

9月7日（月）、北区岩淵地域でまちづくり活動に取り組む加藤正子さんから、運営する私設図書室「仙狸文庫」や参加している活動についてお話を伺い、情報交換をしました。

加藤さんは、東日本大震災で災害時には地域の連携が大事だと気づき、2017年に北区岩淵町のまちづくり会社が運営するコワーキングスペースの応援を始め、2019年にその中の一室を借りて、趣味の山、自転車旅、地図などの本やグッズを置いた私設図書室「仙狸文庫」を始めたそうです。さらに、一箱古本市やけん玉ワークショップで、各地のイベントにも参加してつながりを広げ、地域でも挨拶を交わせる方が増えているそうです。

他に、加藤さんが参加している活動より、「ヌーヴェル赤羽台Hintmation※」「正光寺を会場とした地域多世代交流」「岩淵町まちづくり協議会」を紹介いただき、全て見学OKと伺いました。

メンバーからは「ぜひ行ってみたい」「防災まちづくりには生協の枠を取り払ってつながる必要がある」「Hintmationのようなパイプ役になれるとよい」等の感想が寄せられ、まちづくり活動のエネルギーにつながりました。

※団地内に専任スタッフが常駐するUR都市機構がプロデュースする多機能型コミュニティ拠点。ゆるやかに人と人をつなげるハブとなっている。

東都生協

生協の配送ルートでフードドライブ

東都生協では、地域で食料支援活動をしている21団体と連携したフードドライブをそれぞれの団体の活動地域を中心に年に2回供給時に実施しています。

9月10日（木）、2018年1月から「NPO法人フードバンク狛江」に食品の寄贈を続けている調布センターを訪問し、作業の様子やお話を伺いました。東都生協の組合員1名、職員1名、「フードバンク狛江」の5名が、集まった155．8kgの食品を「米」「瓶・缶詰」「飲料」「その他」に手際よく仕分け、それぞれの箱ごとに重さを測り、車3台に分けて積み込んでいました。

「フードバンク狛江」代表理事の田中さんから、「物価高で組合員のみなさんも大変な中、気持ちを寄せてくださり、本当に助かります。また、今年はお米が増えて嬉しい。」と感謝の言葉をいただきました。

2017年度から続いている組合員と職員がともに取り組むフードドライブは、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりの一環としてこれからも続いていきます。

豊島区内の生協の取り組み

子どもが学ぶ消費者展 「知るって楽しい夏休み」

今年54回を迎えた豊島区消費者展は、地域生協、医療福祉生協と地域の団体で構成される実行委員会で運営しています。今年は、初めて子供向けの消費者展を8月20日に開催し、600名を超える参加者でにぎわいました。買い物ゲームを通して「楽しく学ぼう！お金の使い方」や、「地球のためにエコ活」「未来につなぐごみゼロ生活」の展示で環境問題を学びました。

食品カードを使いバランスの良い食事を考える「おいしく食べて元気な体を作ろう」は、子どもだけでなく大人の参加もあり栄養士のアドバイスが好評でした。

「あなたなら何をつめる？防災リュック」や区役所の防災課での仮設トイレの設置体験で防災についての学びもありました。

コープみらい・パルシステム東京・北東京生活クラブ・東京保健生協・東京第一友の会・新日本婦人の会

東京都生協連

くらしフェスタ東京2026

「交流フェスタ2026」に「東京の生協がすすめる食と健康づくり」で出展！

日時：10/23（金）11時～17時、10/24（土）10時～16時
場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

「未来のために今できることを」をテーマに消費生活について楽しく学べる「交流フェスタ2026」に参加して、健康チェックと23（金）11時30分から、東京ふれあい医療生協「かあさんの茶の間グループゆかいな仲間たち」のご協力で、楽しいフレイル予防運動を紹介します。

東京都生協連会館にて開催します！

募集人数50名

まちづくり講座２３講

居心地のいいチームの作り方
任せる力の高め方
～コミュニティマネジメント入門～

日時１１月２０日（金）
１３：３０～１６：００

詳細・お申し込みはこちらから→

編集発行：東京都生活協同組合連合会

まちづくり活動のHPはこちら▶